



蘭田裕之の店長

福岡県直方市で昭和8年に創業した老舗自転車販売店「蘭田自転車商会」が、ジャイアントのコンセプトストアとして再スタートを切ったのは2016年のこと。店長の蘭田裕之さんは「当時まだコンセプトストアは九州にはなく勇気のいることだったが、田舎の一店舗に対し真摯に向き合ってくれていたメーカーで信頼性も高かったので、やろうと決断した」と、当時を振り返る。スポーツバイクに注力する理由の1つが、直方北九州自転車道と、県北部海沿いの遠賀宗像自転車道が17年に繋がったこと。この取り組みを発起したのが7年前に亡くなった蘭田さんの父親であったということから、思いはなおさら強かった。「サイクルスポーツがこの地域にも定着する時代がきつと来る」と、よく口にしていたそうだ。キックバイクからカーボンロードまで価格帯も含め幅広くラインナップするジャイアントは確かに、その発展を十分サポートできるブランドだとい



女性向けブランド「Liv」のコーナー

える。
'25年3月、同店はさらなる改革に乗り出した。県第2の都市である北九州市の中心地、小倉への移転だ。かつて鉱業で栄えた直方市は縮小傾向にあり、ビジネス面でも先が見えていたという。そんな中、大型商業施設「リバーウォーク北九州」からコンセプトストア出店の要望を受けた同メーカーが「蘭田さんに任せたい」と、声をかけた。2度目の大きな決断には北九州市や福岡県の後押しもあったというが、問題はその先。大都市でのビジネス成功は、自転車文化の発展が伴ってのものだ。その意味では、コンセプトストアへの転身前に認定を受けていたというSBAA PLUSに期待するものも大きいのではないかと想像する。

キング・リュウと父親が残したもの

蘭田さんがSBAA PLUS取得に動いたのは「東京大学教授がカーボンについて、警察庁の方が道路交通法について、それぞれ講演してくれるという講習内容に興味を持ち、絶対に受講しよう」と。認定を受ければ、今後も勉強し続けられるし。自転車屋は「一国一城の主」的な錯覚に陥る傾向がある。周りを見ず自分勝手に解釈して、間違った方向に進んでしまえば自分自身のためにも、周りのためにもならない」との考えから。カーボンについては、同店ではエントリーモデルから幅

うになるし、認定者にとってのビジネスメリットにも繋がる」と願う。こうした会話の中で、蘭田さんが認定者のことを「自転車伝道師」と形容した瞬間があった。「自転車伝道師」は、今年2月に惜しまれつつ逝去したジャイアントの創業者、劉金標氏の異名。劉氏の最大の功績が、行政を動かしたことで。「キング・リュウにお会いしたことはないが、我々に残してくれたものの中でそこが一番大きい。SBAA PLUSも同様、世の中に影響を与えられる組織だと思うし、停滞したサイクルスポーツ界を牽引していただけるのでは」と思っている。直方北九州自転車道の礎となった父親も、台湾を変えたキング・リュウも、今はもういない。だからこそ蘭田さんはSBAA PLUSの一員として、2人の思いを引き継ぐと前を向いている。

▽住所…福岡県北九州市小倉北区室町1丁目111リバーウォーク北九州1階
▽TEL…093196713840
▽営業時間…通常10:00〜20:00
▽定休日…火曜日
▽様々な商業テナント他、複数の文化施設が一体となった大型総合施設「リバーウォーク北九州」の1階にある、スポーツバイクブランド「GIANT（ジャイアント）」のコンセプトストア。約50坪の店内にはクロスバイクを中心に、アルミロード、カーボンロード、MTB、キッズバイク、Eバイク等、オールジャンルでラインナップ。パーツ、アクセサリーも幅広く揃え、地域のサイクルスポーツ愛好家のニーズに応える。

一般社団法人 自転車協会

SBAA PLUS 認定

（一社）自転車協会が展開するスポーツバイクを取り扱うスタッフの認定資格「SBAA PLUS」。全国1000名のSBAA PLUS認定者は果たして、そこにどんな価値を見出し、ユーザーの安全・安心にどう役立っているのか。今回は福岡県北九州市にある「ジャイアントストア小倉」の店長、蘭田裕之さんに話を伺った。

者は“自転車伝道師”



「PROPEL」「TCR」「DEFY」等のハイエンドロードも展示



昨年3月にオープンしたジャイアントストア小倉



展示車両の約半数を占める人気のクロスバイク